

# 星 辰

No.96

長野市大字南長野  
幅下692の2  
TEL.026-217-5858

県政だより

発行責任者  
県民クラブ・公明大北  
宮澤敏文  
E-Mail:kenminclub@ily.ocn.ne.jp

星辰とは、変わるこ  
とのないもの、理想

## 新しい魅力の掘り起こし 宮澤敏文県議動く

### 食の王国北アルプス山麓物語づくり

#### スイーツプロジェクト2022 第2弾



北アルプスの壮麗な峰々からの清冽な水は、わくわく滾々と里を潤し、豊かな農産物や匠技は、多くの来訪者に物語と感動をもたらしてきました。

コロナ禍で傷んだ地域の魅力を見つめ直すため、私たちは『食の王国北アルプス山麓』づくりを宣言し、20年間創り上げてきた『北アルプス山麓ブランド』に磨きをかけて、コメ消費拡大に向けた日本酒、こめカレー、おにぎり、昨年度からはスイーツにも取り組んでいます。

本場フランスのスイーツコンテスト優勝者を審査委員として、世界に向けて発信する「食の王国北アルプス山麓プロジェクト」が今、動き出しました。

北アルプス山麓育ち in 首都圏 実行委員会  
委員長 宮澤敏文

私たちが推薦します!

### 20年前に宮澤県議の提案でスタートした北アルプス山麓ブランドは『食の王国北アルプス山麓づくり』をかかげ、海外物産展、誘客対策のスイーツ、米消費拡大のためのこめカレーなど新たな挑戦!!

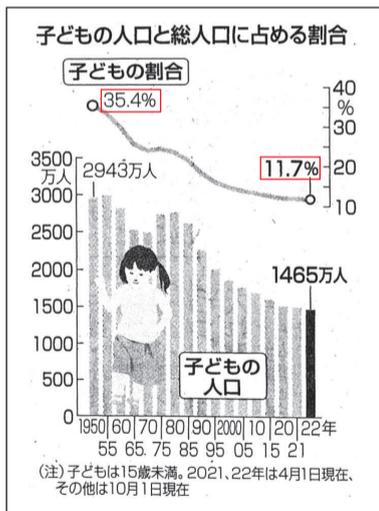
「ひと山が崩れ、土石流は麓の集落をのみ込み、23名が犠牲となった明治44年8月8日浦川の大災害。自然の猛威とそこから始まる住民の生命生活を守る砂防事業の取り組みを砂防長野県として後世に残すべきではないか。」と公式の場で初めて、宮澤敏文県議は令和3年11月県議会で知事や建設部長に提案した。

その後地元小谷村や砂防関係者と作家幸田文さんが訪問された3大崩れの富山県のとんび山崩れ、静岡県の大谷崩れを視察研究し、11月宮澤県議、中村小谷村長が呼びかけ人となり、検討委員会が動き出した。まとめ役には本会議答弁者の田下当時建設部長が就任。国土交通省、長野県、小谷村の代表からなる全国から注目される砂防事業の一大プロジェクトがスタートした。

### 日本3大崩れ稗田山の 教訓を歴史残す プロジェクトスタート

### 「小谷村の悲願」前進

今も松本砂防事務所の無人機械での工事が続く（小谷村稗田山）



北アルプス山麓ファーム(株)と村との会議(村庁舎)

長野県米を考える会長の宮澤敏文県議は、コメの産地松川村に、「コメ年間9000俵を使用し、こんにやく粉とミックスし製造する米粉工場の誘致を進めている。10年前に廃業した「松川村ハロー安曇野の再利用をなにか」との村関係者から活性化の依頼を受けて1年間、各方面に調整し、この度、蒟蒻加工の企業、大手食品企業と連携し、地元北アルプス内の生産農家が参加する新企業北アルプス山麓ファーム(株)が創立され、米粉の製造、キムチ等の漬物、リンゴ果汁の製造工場設置に向けて着々と動き出した。

### 松川村や北アルプス山麓の水田と農業を守る 宮澤県議の労苦が実る



3年目をむかえた池田工業生徒のIT 専門授業 (学校法人日本アルプス国際学院)

富士電機など中信労協参加企業との連携等で、ものづくり現場を熟知する宮澤県議は、企業が望む「高校生の就職者のために専門力や英会話を習得する教育の実施」を本会議等で幾度も熱く論じてきた。

長野県では、北信に長野高専が、東信と南信に県立工科短大があり、ものづくりに大きく貢献している。唯一中信には高等専門教育機関がなく、松本地区安曇大北地域のものづくり人材を育成する高等教育の専門学校の設置を積極的に働きかけている。

東京都や滋賀県では工業高校の統廃合の際、専門力を上げ、ものづくりの希望者をアップさせるため「中学校から5年間学ぶ専門性の高いものづくり教育」で募集生徒増を実現した。

「地域振興は、産業振興から、産業振興は人づくりにあり、宮澤敏文県議の持論」であるが、著しい少子化で生徒不足から11・12通学区のいずれも100年高校の南安曇農業高校、穂高商業高校、池田工業高校の3校を統合し「安曇野総合技術高校(仮称)」をと長野県教育委員会は提案している。

### 北アルプス山麓安曇野に 県立ものづくり高等教育 施設を池田工高などに

